

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12020100

政策目標	3	のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	B		
単位施策	3	青少年教育の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	武雄市児童交流事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	12 教育委員会教育振興課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	武雄市への児童派遣及び受け入れ		関係例規・法令名	#N/A		
事業目標	派遣児童16名、引率者4名及び受け入れ児童16名		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加	無		関係例規・法令名	無		
住民協働	無		関係例規・法令名	無		

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事業内容		事業内容		事業内容		事業内容	
計 画 内 容	武雄市への児童派遣及び受け入れ 武雄市児童用防寒着購入	派遣 経費 旅費 900千円 需用費 40千円 食糧費 30千円 消耗品 10千円 役務費 30千円 負担金 1,700千円  受入 経費 報償費 40千円 旅費 3千円 需用費 200千円 使用料 27千円	派遣 経費 旅費 900千円 需用費 40千円 食糧費 30千円 消耗品 10千円 役務費 30千円 負担金 1,700千円  受入 経費 報償費 40千円 旅費 3千円 需用費 200千円 使用料 27千円	派遣 経費 旅費 900千円 需用費 40千円 食糧費 30千円 消耗品 10千円 役務費 30千円 負担金 1,700千円  受入 経費 報償費 40千円 旅費 3千円 需用費 200千円 使用料 27千円	派遣 経費 旅費 900千円 需用費 40千円 食糧費 30千円 消耗品 10千円 役務費 30千円 負担金 1,700千円  受入 経費 報償費 40千円 旅費 3千円 需用費 200千円 使用料 27千円 備品購入費 970千円	派遣 経費 旅費 900千円 需用費 40千円 食糧費 30千円 消耗品 10千円 役務費 30千円 負担金 1,700千円  受入 経費 報償費 40千円 旅費 3千円 需用費 200千円 使用料 27千円	
	事業費(千円)	15,870	2,980	2,980	2,980	3,950	2,980
計 画 事 業 費	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	2,400	480	480	480	480	
	一般財源	13,470	2,500	2,500	2,500	3,470	2,500
実 績 事 業 費	事業費(千円)	10,115	2,155	2,653	2,367	2,940	0
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	1,470	300	480	300	390	
一般財源	8,645	1,855	2,173	2,067	2,550		
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) 武雄市への児童派遣 引率者4名、児童10名 ・学校交流、ホームステイ等 武雄市児童受入 引率者4名、児童16名 ・学校交流、ホームステイ等 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 武雄市への児童派遣 引率者4名、児童16名 ・学校交流、ホームステイ等 武雄市児童受入 引率者4名、児童16名 ・学校交流、ホームステイ等 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 武雄市への児童派遣 引率者4名、児童10名 ・学校交流、ホームステイ等 武雄市児童受入 引率者4名、児童16名 ・学校交流、ホームステイ等 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 武雄市への児童派遣 引率者4名、児童13名 武雄市児童受入 引率者4名、児童16名 防寒着購入 引率者用4着、児童用16着 バナナボート購入 2台 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ※事務事業評価結果
	武雄市児童交流事業参加者負担金	【評価・実績】					
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	派遣員等20名、受け入れ児童16名	派遣員等20名、受け入れ児童16名	派遣員等20名、受け入れ児童16名	派遣員等20名、受け入れ児童16名	派遣員等20名、受け入れ児童16名
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	72%	89%	79%	74%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	14%	30%	45%	64%	64%
	備考欄						

事業名	武雄市児童交流事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	澤田 朋 朗
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係長	齋藤 康 志

様式1  
平成28年度実施  
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町内小学生(5年生・6年生)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	派遣児童16人、引率者4人 受入児童16人、引率者4人								
【抱える課題やニーズは】	様々な文化と児童間の交流体験の確保	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	自主的・集団的な人間関係づくりと学ぶ意欲の促進	① 派遣児童及び引率者	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成28年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>20人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>17人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>85.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値	20人	実績値	17人	達成度	85.0%
目標年度	平成28年度										
目標値	20人										
実績値	17人										
達成度	85.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	学校及び地域等での自発的な思考と豊かな人間性の醸成	② 受入児童及び引率者	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成28年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>20人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>20人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値	20人	実績値	20人	達成度	100.0%
目標年度	平成28年度										
目標値	20人										
実績値	20人										
達成度	100.0%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	派遣	町内小学校児童13人、引率者4人を派遣し、学校交流、ホームステイ等を体験									
	受入	武雄市児童16人、引率者4人を受入れ、学校交流、ホームステイ等を体験									
	備品購入	受入児童及び引率者用の防寒着のほか、残予算を活用し受け入れの際の学校交流用にバナポート2台を購入									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	地域文化・教育的な交流は、地域児童の感情や情緒を育み、郷土意識を高め、健やかな成長を促すことから必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	異なった気候や風土、生活習慣を体験でき、自主的活動意欲が養われたことから、期待した効果が得られた。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	複数旅行事業者による見積合わせ・早期発注により経費削減している。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	町内小学生5年生以上を対象とし、希望者について等しく参加を認めているとともに、適切な受益者負担を求めており、公平性は保たれていると判断する。
公平/概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
へき地小学校は、少人数のため派遣対象児童がいないなどの理由により、派遣児童数が目標値を下回ったが、児童派遣・受入を通じ積極的に交流を行い、本事業の目的に沿う事業展開ができている。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
地域間交流等の体験を通して、次代を担う青少年の育成が図られることから、継続が必要であるが、派遣の原則条件となる受け入れ時のホストファミリー対応についての体制改善・整備について明確化する。		
※展開方向の区分 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止		